

# 県老健 平成25年度 第3回看護部会研修会 アンケート集計結果

研 修 日 : 平成 25年 10月 16日(水)

会 場 : ウィリング横浜 12階  
研修室 121・122号室

座 長 : 京都大学東南アジア研究所  
笠原 順子 先生

テ ー マ : 看護研究発表会

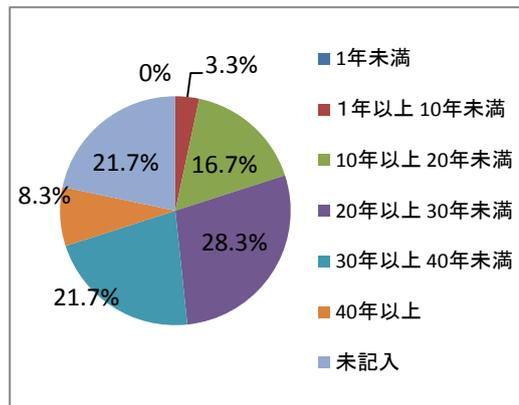
参 加 人 数 : 60 名

集計枚数 60枚  
 集計日 平成25年10月17日  
 回収率 100.0%

☆ 参加者について ☆

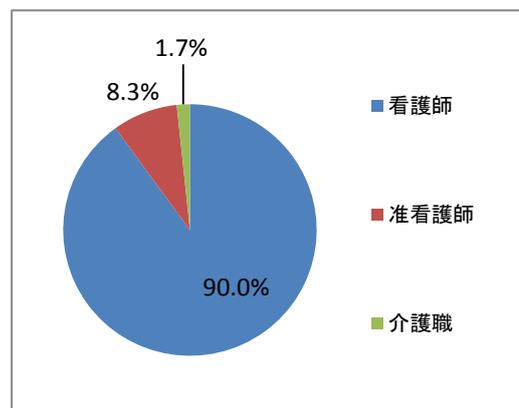
①看護職経験年数

1年未満	0名	0%
1年以上 10年未満	2名	3.3%
10年以上 20年未満	10名	16.7%
20年以上 30年未満	17名	28.3%
30年以上 40年未満	13名	21.7%
40年以上	5名	8.3%
未記入	13名	21.7%



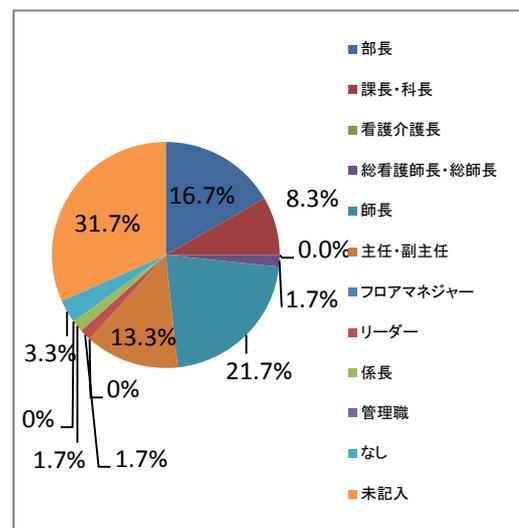
②職種

看護師	54名	90.0%
准看護師	5名	8.3%
介護職	1名	1.7%



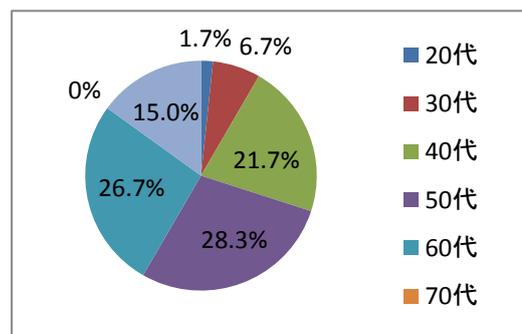
③役職

部長	10名	16.7%
課長・科長	5名	8.3%
看護介護長	0名	0.0%
総看護師長・総師長	1名	1.7%
師長	13名	21.7%
主任・副主任	8名	13.3%
フロアマネジャー	0名	0%
リーダー	1名	1.7%
係長	1名	1.7%
管理職	0名	0%
なし	2名	3.3%
未記入	19名	31.7%



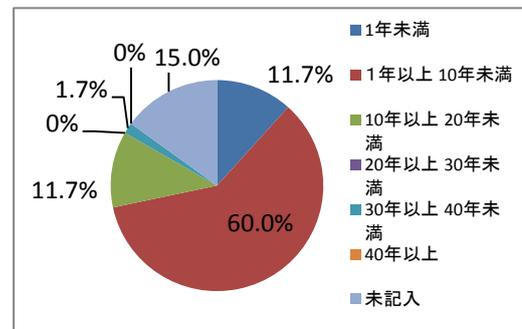
## ④年齢

20代	1名	1.7%
30代	4名	6.7%
40代	13名	21.7%
50代	17名	28.3%
60代	16名	26.7%
70代	0名	0%
未記入	9名	15.0%



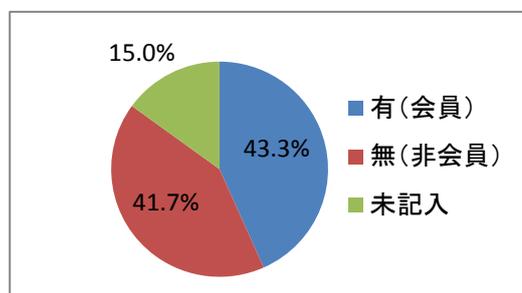
## ⑤現職での経験年数

1年未満	7名	11.7%
1年以上 10年未満	36名	60.0%
10年以上 20年未満	7名	11.7%
20年以上 30年未満	0名	0%
30年以上 40年未満	1名	1.7%
40年以上	0名	0%
未記入	9名	15.0%



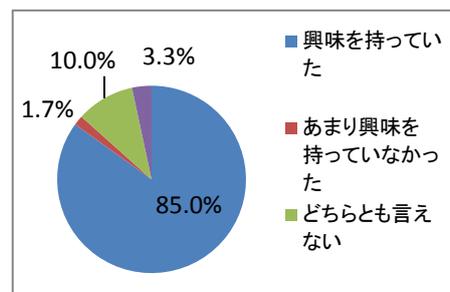
## ⑥看護協会入会の有無

有(会員)	26名	43.3%
無(非会員)	25名	41.7%
未記入	9名	15.0%



## 1.研修内容について

① 興味を持っていた	51名	85.0%
② あまり興味を持っていなかった	1名	1.7%
③ どちらとも言えない	6名	10.0%
④ 未記入	2名	3.3%



## ①「興味を持っていた」と答えた方の理由

- ・ 耳にしたことのない、タクティールケア、ブリストル排便スケール等の言葉を聞き、今後調べていきたいと思いました。
- ・ 現場と密接するため、勉強にもなり、良い内容であった。
- ・ バリエティに富んだ内容に感心いたしました。  
タクティール、笑いヨガ、腹臥位療法など、参考になりました。
- ・ 同様な問題で苦労し、クリアしたケースが多かった。
- ・ 施設看護の(他施設の)実際を学べそう。
- ・ 今回初めて参加させて頂きました。  
他の老健で、現在どのような取り組みを行っているのか、興味がありました。
- ・ タクティールケアやアロマ療法等のあまり聞いたことのない事例の発表が、すごく興味をひかれました。
- ・ 各施設での取り組みについて、導入できるものもあったため。
- ・ 発表テーマを事前に知りたかった。
- ・ 日々のケアに参考になるものがあればと思っていた。  
参加することで、自分のモチベーションが上げられると思った。
- ・ 看護研究に組みたいと考えているため。
- ・ 施設に関するテーマ
  - 1.多職種連携と情報の共有
  - 2.認知症の人の身体攻撃性を軽減した介護の一事例 ～入所から30日間の記録の振り返りから～
  - 4.介護職員による痰の吸引等に関する意識及び比較調査  
～老健施設での介護職員による痰の吸引は必要か～
  - 5.経管栄養から経口摂取獲得に向けてのアプローチ ～うつ病の高齢者の事例を通して～
- ・ 研究発表がどのような場なのか、体感したいと思った。
- ・ 何か参考にすべき報告があると思っていた。
- ・ 老健での看護業務が様々なテーマで発表されると思い、興味がありました。
- ・ 老健での看護研究はどのように取り組んでいるのかに、興味があったから。
- ・ 全ての発表内容が、今後の看護に役立つ点がありました。
- ・ 今後、組みたいと思います。
- ・ 他施設での取り組み。

- ・当法人グループ内の研究発表の参考にしたい。日頃の業務に生かしたい。
- ・他施設での問題や課題を知り、取り組みを学ぶことで自施設のケアの取り組みを再考したいと思った。

## ②「あまり興味を持っていなかった」と答えた方の理由

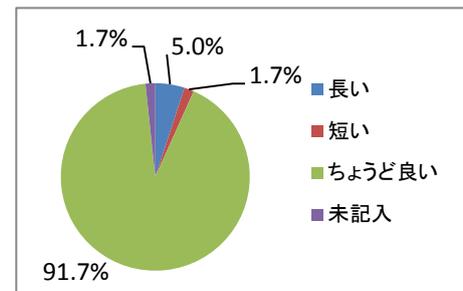
- ・内容を事前に知らなかった。

## ③「どちらとも言えない」と答えた方の理由

- ・研究の内容詳細はわからなかったため。
- ・内容を把握せずに来たため。
- ・看護師の発表だったので難しいのかと思ったが、老健での取り組みだったので身近に感じた。

## 2.研修時間について

① 長い	3名	5.0%
② 短い	1名	1.7%
③ ちょうど良い	55名	91.7%
④ 未記入	1名	1.7%



### ①「長い」と答えた方の理由

- ・発表時間を守っていない？
- ・興味のあるものであれば良かった。

### ②「短い」と答えた方の理由

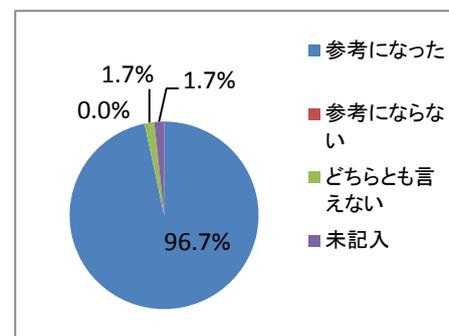
- ・老健限定の発表のため、質問時間、意見交換の時間があれば良い。

### ③「ちょうど良い」と答えた方の理由

- ・集中してお話を聞ける研修時間配分であったと思います。
- ・すごく良かった。
- ・充実した内容がたくさんでした。
- ・午後から開始して頂けたので、業務を片付けて参加できました。
- ・丁度眠くなる時間で、1時間毎の研修会は丁度良いと思います。
- ・発表時間にばらつきがあったように思います。
- ・長すぎず短すぎず良かったが、途中の休憩はいらないと思う。
- ・休憩もとれ、特に問題ないと思います。
- ・集中できる時間、眠くならない。
- ・遠方から来るので、ちょうど良い。
- ・良かったです。
- ・発表時間、演題数共に、とても良かったと思います。

### 3.発表内容について

① 参考になった	58名	96.7%
② 参考にならない	0名	0.0%
③ どちらとも言えない	1名	1.7%
④ 未記入	1名	1.7%



※今後、取り入れられるもの・実践することができると思うもの等

- ・タクティールケア、ブリストル排便スケール、老健での吸引の意識
- ・笑いヨガを行うことで、利用者様に笑顔があれば良いと思います。
- ・ブリストル排便スケール、気づきノート、ランチカンファレンス
- ・ブリストル排便スケール、タクティールケア
- ・笑いヨガのトレーニングを、ぜひ当施設でも取り入れたいと思います。
- ・痰の吸引の意識調査、腹臥位療法
- ・レストア川崎の、介護職員による痰の吸引の意識調査。  
レストア横浜の、腹臥位療法。
- ・後半9席の腹臥位療法が参考になった。
- ・ホワイトボードの使用、腹臥位療法 等
- ・ブリストル排便スケール、今一つ自分でも勉強してみたい。
- ・腹臥位療法 他1名
- ・笑いヨガ 他1名
- ・1.多職種連携と情報の共有
- 6.看護師の健康管理力アップのための取組み
- 7.目指せQOLの向上 ～笑いヨガで笑顔を取り戻せ～
- 8.拘縮を伴う手の手浴を省みて 手浴の実際を省みる
- 9.誤嚥性肺炎のリスクが高い利用者へ腹臥位療法を用いて ～経口摂取再開へのアプローチ～
- ・第1席のホワイトボードの活用による引き継ぎの短縮化  
第2席 自己肯定感のある介入  
第6席 ランチカンファ  
第7席 レクの笑いヨガの取り入れ
- ・タクティールケアや笑いヨガは実践したいと思えるものでした。  
看護師のチームを分けている施設、介護と協同している施設、と様々でしたが、受け持ちはあった方が良いのではないかと感じました。
- ・「笑いのヨガ」は、当施設でもやってみたいと思った。
- ・ブリストル排便スケール、タクティールケア、ランチカンファレンス、笑いヨガ

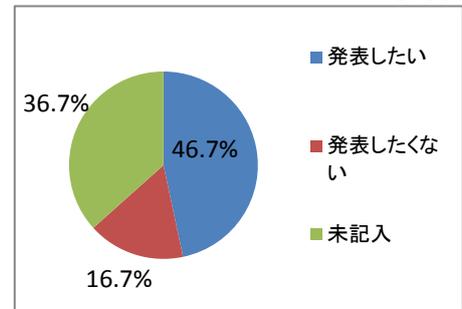
- 笑いヨガやアロマなど、おもしろい実践の様子を見ることができたので、そのような支援方法があるのだと勉強になった。
- アロマを使用したタクティールケアを実践して、利用者のイライラ、安眠を計りたい。腹臥位療法を勉強し、取り入れていきたい。
- 笑いヨガ、アロマのタクティールケア、手浴
- 笑いヨガ、タクティールケア、レクリエーションとして取り入れてみたい。
- 笑いヨガ、タクティールケア、ブリストル排便スケール、体位ドレナージ(腹臥位療法)
- どれも参考になったが、「笑いヨガ」(コストなし)、「腹臥位療法」「ランチカンファレンス」は他職種も入れられたらやってみたい。
- 笑いヨガ等、効果が出ているものは興味がありましたので、施設で働きかけることができるかとも思いました。
- 手のマッサージ、笑いヨガ、腹臥位など、実践していきたいと思います。有意義でした。
- 3.認知症高齢者にアロマを使用したタクティールケアの効果  
～芳香浴だけでは効果が得られなかった4症例～
- 4.介護職員による痰の吸引等に関する意識及び比較調査  
～老健施設での介護職員による痰の吸引は必要か～
- 5.経管栄養から経口摂取獲得に向けてのアプローチ ～うつ病の高齢者の事例を通して～
- 7.目指せQOLの向上 ～笑いヨガで笑顔を取り戻せ～
- 9.誤嚥性肺炎のリスクが高い利用者へ腹臥位療法を用いて ～経口摂取再開へのアプローチ～
- 7.笑いヨガ、良いです。施設でも取り入れたら良い。
- 笑いヨガ、腹臥位療法
- タクティールケア、腹臥位療法
- 笑いヨガ、勉強会に行って施設に取り入れたい。
- ブリストル排便スケール、タクティールケア、笑いヨガ
- 看護師の健康管理力アップの取り組み 他1名
- 「多職種連携と情報の共有」での、看護・介護の重複業務を5S活動を通して行われていたところなどは、是非取り入れていきたいと思います。

※その他のコメント

- 実際に現場で取り入れていることもあり、すごく参考になった。
- 大変満足です。
- 身近な問題が大変良かった。
- 他職種と協働したり、利用者の細かい言動を記録したりして、いつものことをもう一步踏み込むことが大切だと思った。

## 4.次年度の看護研究発表会について

① 発表したい	28 名	46.7%
② 発表したくない	10 名	16.7%
③ 未記入	22 名	36.7%



## ①「発表したい」と答えた方

- ・ 日頃の看護業務の中でやっていることを、文章でまとめてみるのも良いのではないかな。
- ・ 当方の施設でも各種の取り組みについて紹介したいと思ったから。
- ・ 自分の施設を向上させたい。
- ・ 日々行ってきた看護を評価・振り返りができ、今後モチベーションが向上できるため。
- ・ 初めて参加し、看護をしていく動機付けになった。
- ・ 看護職のモチベーションを高めたい。
- ・ 実践看護の振り返りになり、学びの場・機会を得られる。
- ・ 他施設の看護への意欲や取り組みを知ることができるから。
- ・ 施設内で職員の意識が高まれば研究はしたいと思うが、現状では難しい。
- ・ 自らの勉強になる。自施設での取り組みを知ってもらえる。
- ・ モチベーションが上がるため。
- ・ スタッフの意識を高めている余上で、今後発表できるように努力したいと思っています。
- ・ できたら、やってみたいです。
- ・ 看護ではないのでダメかもしれませんが…
- ・ 看護職を中心とした研究発表の場が他にないから。

## ②「発表したくない」と答えた方

- ・ 皆様の前で発表するまでの研究内容が、まだありません。
- ・ なかなか時間がなく、Nsの入れ替えもあるため、です。
- ・ 十分でないため。
- ・ 人数がはず…。
- ・ 日常業務で手一杯で、看護研究の準備ができない。
- ・ 人員不足で、研究する時間がなかなかとれない。

## ③未記入の方

- ・ 日常で研究したい内容が、今後あれば。
- ・ 整ったら発表したいと思います。
- ・ 考え中。

## 6.意見・感想

- ・ 日常なかなか機能改善を自覚できることがありませんが、今回いろいろな取り組みの発表をお聞きして、個別ケア・新しいケアを取り入れ実践する大切さを改めて感じました。
- ・ 座長さん(笠原さん)の導入が大変良かった。思っていることを質問していただき、満足。今後もぜひ続けてください。
- ・ 座長の笠原先生の適切な講評と進行が良かったと思います。発表だけではなく、研究の良いところや視点について学べたと思います。悪い点についても指摘して頂くと、今後の研究に生かせると思いました。
- ・ 他の施設での取り組みは素晴らしいと思います。またこういう機会があったら、出席させてください。
- ・ 抄録が事前に配布されると、読み込んできやすいと思いました。引用参考文献が記載されていると参考になります。(パワーポイントに載っていても、転記が間に合わないため。)
- ・ たくさんの発表を聞いて、とても参考になりました。また皆様の看護への意識が高いことに感銘いたしました。
- ・ 他の老健の取り組みなどがうかがえ、大変勉強になりました。
- ・ いろいろと勉強になりました。参考にしたいことがたくさんあります。
- ・ 他の施設でいろいろ頑張っているのがわかり、とても励みになりました。
- ・ 1つ1つの演題に、もう少し時間がかけられた方が良かった。もう少し詳しく聞きたかった。聞いたことのない言葉も出てきた(勉強不足です)。ブリストル排便スケール、タクティールケア、J.トラベルビー、A.バンデュラ
- ・ 事前に資料が手元にあれば良いと思う。あとになって、こういう質問をしてみたかった、と思うことが多いので。演題者を囲んでディスカッションも良いのでは。
- ・ とても刺激になりました。興味のある勉強会等に参加して、新しい手法を取り入れていきたいです。もっと外に目を向けて、新しいことに挑戦してみたいです。
- ・ ブリストル排便ケア、タクティールケア等、活用してみたいと、ものすごく感じました。タクティールケア:不眠の方がいるのですが、入眠を促す努力を試していますが、これをやったことがまだありません。笑いヨガは、とても簡単・コスト0とのことで、レクリエーションで取り入れたい！おもしろそう。前後の表情の違いにびっくりでした。
- ・ 勉強になりました。